

U.S. Indicators

発表日: 2024年4月2日(火)

米国 17ヵ月ぶりに拡大を示す水準 (3月ISM製造業)

～コストの増加などインフレ再燃の兆しも～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24年3月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、50.3(前月47.8)と前月から2.5%上昇し、市場予想中央値48.3(筆者予想49.2)を上回った。生産、新規受注の上昇を主因に、拡大縮小の分岐点である50を17ヵ月ぶりに上回り、米製造業部門が拡大に転じたことを示した。また、拡大した業種数は18業種中9業種と前月の8業種から増加、縮小した業種数は6業種と前月の7業種から減少しており、回復の動きに広がりが出始めた。

3月の構成項目別の前月からの変化では、入荷遅延が低下した一方、新規受注、生産、雇用、在庫が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延が前月比▲0.04%ptの押し下げ寄与となった一方、生産が前月比1.24%pt、在庫が前月比+0.58%pt、新規受注が前月比+0.44%pt、雇用が前月比+0.30%ptの押し上げ寄与となった。

3月の構成項目の水準では、雇用、在庫、入荷遅延が50を下回った一方、新規受注、生産が50を上回った。在庫が景気の先行きに対する慎重な見方や出荷の増加を背景に50を下回っているほか、雇用は6ヵ月連続で50を下回り、製造業の雇用減少が示唆された。ただし、雇用の縮小した業種数が18業種中8業種(前月10業種)と減少した一方、拡大した業種は7業種(前月4業種)に増加しており、悪化に歯止めがかかりつつある。入荷遅延は需要回復の動きによって49.9と50を小幅下回る水準となった。一方、新規受注は50台を回復し、受注の拡大した業種が18業種中12業種(前月11業種)と受注回復の動きに広がりが見られる。生産は再び50を上回り、生産の拡大した業種は18業種中13業種(前月7業種)に増加しており、生産も回復の動きに広がりが出始めた。

サブ項目では、輸出受注DIが51.6(前月51.6)と輸出の緩やかな拡大を示した。一方、輸入DIは53.0(前月53.0)と米国内需要の堅調を背景とした輸入の増加を示した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、55.8(前月52.5)と上昇、コスト増加を示し、インフレ再燃のリスク。商品別では、アルミニウム、天然ガス等が下落した一方、スチール、ポリプロピレン、海上貨物、プラスチック樹脂等が上昇した。供給不足品では、引き続き電気部品などが挙げられた。

ISM製造業景気指数

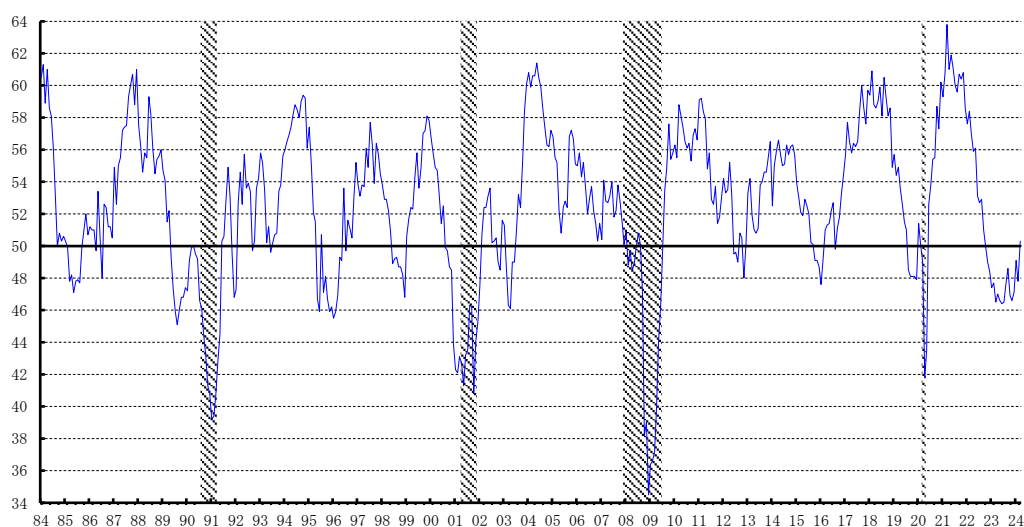
	総合									
	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入	
23/03	46.5	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.0	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.6	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.4	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.5	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	48.6	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.9	46.2	50.0	47.1	43.6	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1
24/02	47.8	49.2	48.4	45.9	45.3	50.1	46.3	52.5	51.6	53.0
24/03	50.3	51.4	54.6	47.4	48.2	49.9	46.3	55.8	51.6	53.0

3月に拡大した業種は、全18業種のうち繊維、非鉄、紙製品、石油・石炭、一次金属、食品・飲料・タバコ、加工金属、化学製品、輸送機器の9業種と2月の8業種から増加した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種は食品・飲料・タバコ、加工金属、化学製品、輸送機器の4業種と前月の3業種から増加した。

一方、縮小した業種は、家具・同関連、プラスチック・ゴム製品、電気設備・部品、一般機械、コンピューター・電子機器、その他製造業の6業種と前月の7業種から減少した。印刷・関連サポート活動、木材製品、アパレル・皮革製品は前月と変わらずとなった。

先行きに関して、製造業部門の活動は在庫調整の進展を背景に拡大を続けるものの、金融環境の引き締めによる世界的な需要鈍化等の影響によって、緩やかな拡大ペースになると予想される。

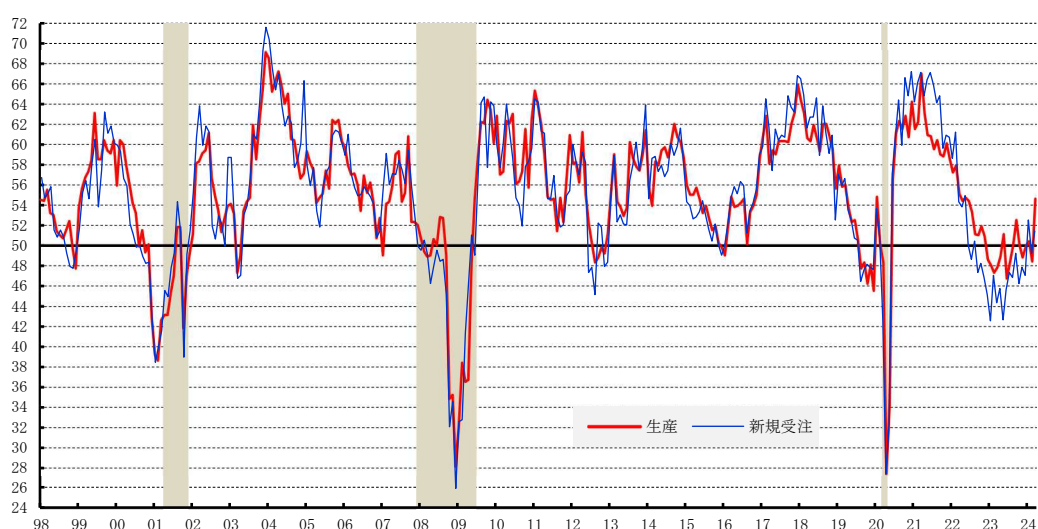
I S M製造業景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャドー部は景気後退期。

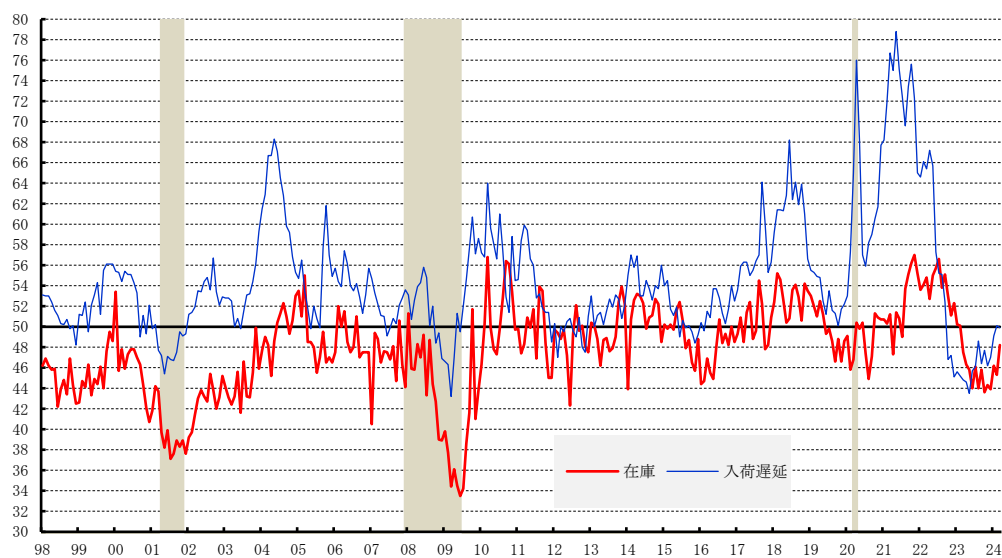
I S M景気指数の推移



(出所) I S M

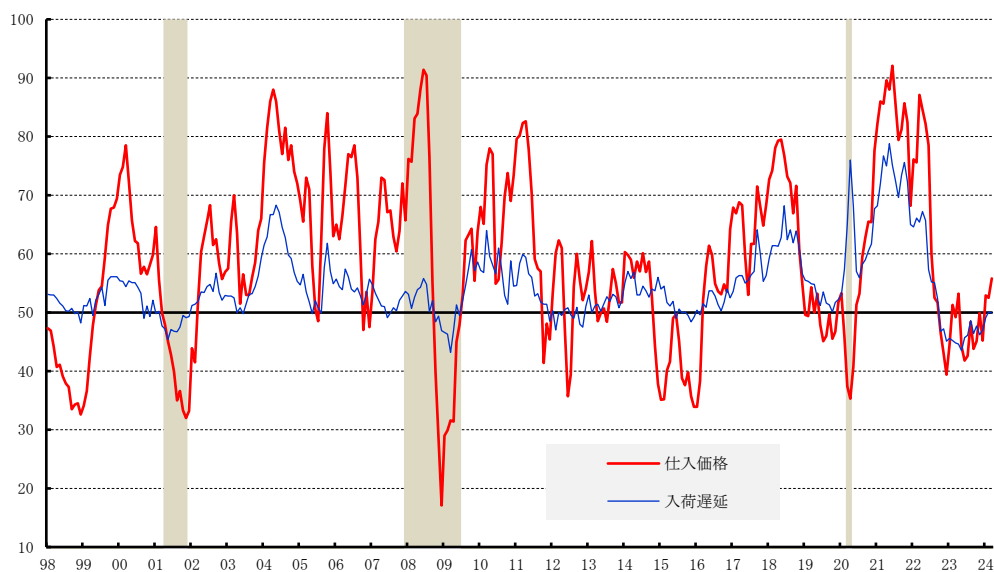
(注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

